

学位被授与者氏名	吉森 裕（よしもり ゆたか）
論文題目	北九州の都市と港湾の計画のあり方に関する提言 ーシンガポールの事例を参考にー
論文審査結果の要旨	<p>①吉森氏は長年北九州市に勤務し、とくに港湾行政に長期間携わってきた。失敗に終わった響灘ハブポート構想の教訓を、今後の北九州市の都市政策とりわけ土地利用のあり方にいかしたいという強い思いが本論文執筆の動機になっていて、問題意識はきわめて明確である。</p> <p>②この明快な問題意識の下、戦後日本の国土計画および北九州市の都市政策と土地利用に関する多くの史資料を集めて分析し、北九州の工業立地と港湾整備がどのように土地利用の分断と人の排除につながったのかを、響灘ハブポート構想の失敗を事例として考察している。</p> <p>③さらに、グローバルシティとして発展を続けるシンガポールの都市政策とくに土地利用計画が、今後の北九州市に大きな示唆を与えるのではないかと考え、シンガポールでの実地調査を通して都心部の河川と港湾エリアにおけるウォーターフロントの利用と制御の政策や方法について、丁寧な観察と考察を行っている。</p> <p>④響灘ハブポート構想の失敗とシンガポールの事例を踏まえて、長期的なコンセプトプランの重要性、単一的な土地利用ではなく付加価値のある土地利用の必要性、市民に向けた港湾行政への転換、という具体的な提言を行っている。</p> <p>2019年2月12日（水）18:00 から B202 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認した。論文にはいくつかの誤字脱字や図表番号のズレなどの細かいミスは散見されるものの、明快な問題意識に基づき、丹念に史資料を集めて考察・分析し、具体的な提言を行った論文であり、本論文が修士（国際学）として十分な内容であると判定した。</p>